

平成23年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・土壌肥料部会  
秋季研究会 開催要領

関東東海・土壌肥料部会長  
中央農研 土壌肥料研究領域長  
木村 武

1. 趣旨

近年の肥料情勢、環境保全・循環型農業推進等の視点から、施肥節減の要請が強い、しかし、生産力を維持しつつ投入を低減するには利用効率の向上が基本となる。中でもリン酸は施肥利用率が低いことから多施が続けられ、土壌蓄積が顕著になっている。そこで、施肥の利用効率の向上や土壌蓄積リンの利用を図る新たな技術の開発状況と課題について検討し、今後の技術普及に向けた取組に役立てる。

2. 開催日時： 平成23年10月6日（木）13時～10月7日（金）13時

3. 開催場所： 研究会（1日目）マロウドイン熊谷

〒360-0032 埼玉県熊谷市銀座 1-64 （TEL048-525-7611）

現地検討会（2日目） 彩の国資源循環工場（寄居町）

ブロッコリー栽培圃場（深谷市）

4. 検討事項：「効率的リン酸施肥管理に向けた新技術の開発と課題」（仮題）

- （1）定植前リン酸施肥技術の実用化と適用作物の拡大（農研機構東北研・村山 徹）
- （2）ネギのリン酸施肥量を削減する菌根菌の利用技術（山形大学・俵谷圭太郎）
- （3）接触施肥によるリンの利用効率向上技術（農研機構野茶研・菊地 直）
- （4）植物機能の活用による土壌蓄積リンの効率的利用技術（広島大学・和崎 淳）
- （5）総合討議

5. 参集範囲

関東東海地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、(独)農業環境技術研究所、(独)農研機構、その他部会長が認めるもの

6. 連絡先

(独)農研機構中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 上席研究員 高橋 茂  
(TEL : 029-838-8901、Fax : 029-838-8837)

埼玉県農林総合研究センター 農産物安全・土壌担当 専門研究員 山崎晴民  
(TEL : 0480-21-2091, FAX : 0480-29-1021)

7. その他

参加・宿泊申込み等については、埼玉県農林総合研究センターより別途連絡があります。